

# 今週のKinoppy新着情報—学術書・教養書



## 善と悪の経済学—ギルガメシュ叙事詩、アニマルスピリット、ウォール街占拠

トーマス・セドラチェク/村井章子 税込 ¥3,304 (紙の書籍 ISBN:9784492314579 2015/06刊)  
東洋経済新報社

2008年のリーマンショックを機に、経済学への信用は失墜した。経済学は、いつから、どのようにして象牙の塔の学問となったのか？失われた信用を取り戻すために、経済学はこれからどこへ向かえばいいのか？チェコ共和国で大統領の経済アドバイザーを務めた気鋭の論客が、神話、哲学、宗教、経済学の文献を渉猟しながら、21世紀の経済学の進むべき道を示す。—経済学の歴史を深く知ることは、経済学の可能性を最大限に示してくれる。—経済学は、その始まりのときと同じように、倫理の問題を取り扱うべきだ。—経済の研究が、科学の時代から始まったわけではない。刺激的な主張を繰り出し、経済学のルーツを探る旅に読者を誘う。・チェコで7万部を超えるベストセラーとなり、15カ国語に翻訳され、2012年にドイツのベスト経済書賞(フルランクフルト・ブックフェア)に輝いた話題作。

- ・チェコの初代大統領、ヴァーツラフ・ハヴェル氏によるはしがきつき
- ・チェコを代表する気鋭の経済学者による主流派経済学批判
- ・主流派経済学へのもやもやした不信感のすべてをずばっと記述！

【紙・電子同時発売】



## 戦後経済史—私たちはどこで間違えたのか

野口悠紀雄 税込 ¥1,382 (紙の書籍 ISBN:9784492371183 2015/06刊)  
東洋経済新報社

著者が自らの体験談を豊富に織り交ぜて戦後史を語った、異色の経済書。日本経済の変貌が著者個人の視点と経済学者としての大きな視点の両方から描かれます。最初の記憶は、4歳のときに遭遇した東京大空襲。戦後復興期に過ごした少年時代、1964年の大蔵省入省、アメリカ留学、そして80年代のバブル、90年代・2000年代のグローバル化—。日本経済は、ダイナミックな成長と成熟を遂げる半面、経済思想や政策手段の中に、戦時経済体制的なものをいまだに残している、と著者は指摘します。戦後70年を迎え、日本経済を改めて理解するための必読書です。

【東洋経済新報社 創立120周年企画】



## アンソニー会計学入門(第2版)

ロバート・アンソニー/レスリー・ブライトナー/西山茂 税込 ¥2,721 (紙の書籍 ISBN:9784492601686 2007/04刊)  
東洋経済新報社

アメリカ会計学の巨匠アンソニー教授によるハーバードビジネススクールの定番入門テキスト。「非営利組織体の財務諸表」「政府会計」の2章が新たに加わった改訂第2版。



## 従属国家論(PHP新書)

佐伯啓思 税込 ¥699 (紙の書籍 ISBN:9784569825397 2015/06刊)  
PHP研究所

昨今メディアを賑わせている集団安全保障、憲法改正論議には、現代日本をつくった「戦後の初発」という視点がすっぱりと抜け落ちている。日本の「戦後」とはいかにして始まったのか。実はそこには、大いなる欺瞞が隠されていた。それを直視しない限り、ほんとうの憲法改正論議などできないのだ。

本書では、戦後の始まりから平和憲法、構造改革からTPPIに至るまで「戦後日本」を規定してきた「日米の非対称的な二重構造」を丹念に描き出す。覇権争いでも称すべき冷戦後の世界において、「意識的／無意識的なアメリカ追従」はもはや最良の道ではなくなった。戦後70年間日本人が抱え続けてきたディレンマを鮮やかに切り取り、これから我々が進むべき方向を指し示す。現代を代表する思想家が放つ、待望の戦後論！



## 軍人皇帝のローマ 変貌する元老院と帝国の衰亡(講談社選書メチエ)

井上文則 税込 ¥1,512 (紙の書籍 ISBN:9784062586023 2015/05刊)  
講談社

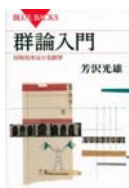
共和政期以来、ローマ帝国を支えてきた元老院。しかし、軍事情勢が悪化し、貧富の差が拡大した三世紀以降、支配権はバルカン半島出身で下層民からのぼりつめた軍人皇帝の手に移る。アウレリアヌス帝、ディオクレティアヌス帝、コンスタンティヌス帝など、七人中四人が、バルカン半島出身の軍人皇帝である。ローマ文明を担うエリートの元老院の失墜と武人支配への変化を描き、ローマ帝国衰亡の世界史的意味をとらえなおす。



## ふしぎなイギリス(講談社現代新書)

笠原敏彦 税込 ¥810 (紙の書籍 ISBN:9784062883177 2015/05刊)  
講談社

近代合理主義を育み、世界に議会制民主主義などのお手本を示したイギリス人がなぜ、世襲制の君主制を支持するのかという「エニグマ(謎)」を読み解き、イギリスという国家、社会像を描き出す。グローバル化の最先端に行くイギリスは、いかにして国家としてのアイデンティティを維持しているのか。



**群論入門 対称性をはかる数学(ブルーボックス)**

芳沢光雄 税込 ¥864 (紙の書籍 ISBN:9784062579179 2015/05刊)  
講談社

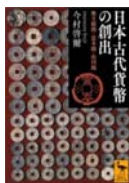
群の歴史は、方程式の研究に遡ります。1変数のn次方程式の解法について、古代バビロニアから、カルダノ、フェ拉里、ラグランジュ、ルフィニ、アーベル、そしてガロアの群論へと発展します。本書は、高校数学の知識でも理解できるようにていねいに解説した群論の初心者のための入門書です。



**研究を深める5つの問い「科学」の転換期における研究者思考(ブルーボックス)**

宮野公樹 税込 ¥864 (紙の書籍 ISBN:9784062579100 2015/04刊)  
講談社

科学や技術を取り巻く状況が変化していくなか、研究者はどのように考え、行動すべきなのか。それらの根源となる「研究者思考」を自力で探究できるようにするのが本書である。1000件を超すプレゼン指導経験から著者が見いだした「研究の本質」について、未来ある若手研究者に向けてわかりやすい言葉で問いかけながら案内する。



**日本古代貨幣の創出 無文銀銭・富本銭・和同銭 (講談社学術文庫)**

今村啓爾 税込 ¥864 (紙の書籍 ISBN:9784062922982 2015/05刊)  
講談社

『続日本紀』には、708年「はじめて銀銭を行う」、「はじめて銅銭を行う」とある。和同開珎が日本初の貨幣という記述があるのはなぜか？ なぜ、まず銀銭、その後銅銭が発行されたのか？ 蓄銭叙位令がなぜ出されたのか？ 『日本書紀』には、683年に「今より以後、必ず銅銭を用い、銀銭を用いる事勿れ」とは何を意味するのか？ 政府が銅銭を流通させた(皇朝十二銭)目的を徹底的に探る。



**現代思想(ピケティ『21世紀の資本』を読む 格差と貧困の新理論)**

トマ・ピケティ/ポール・クルーグマン 税込 ¥1,404 (紙の書籍 ISBN:9784791712892 2014/12刊)  
ン/デヴィッド・ハーヴェイ 青土社

フランスの若手経済学者トマ・ピケティの『21世紀の資本』が大きな注目を集めている。経済成長が必然的に格差と不平等を拡大させることを、膨大な過去のデータにより実証的に明らかにした同書は、700頁を超える専門書にもかかわらず、フランス語版、英語版合わせて60万部を超える売上を記録し、同時に激しい論争を生んでいる。本特集では、同書を読解・検討することで、その意義と可能性に深く迫りたい。

**【関連書】21世紀の資本(電子既刊)**

トマ・ピケティ 税込 ¥4,752 (紙の書籍 ISBN:9784622078760 2014/12刊)  
みすず書房



**競争優位のビジネス生態系(DIAMOND ハーバード・ビジネス・レビュー論文)**

ロザベス・モス・カンター 税込 ¥540  
ダイヤモンド社

新しいアイデア、産業界が求めるスキルを持った労働力、新たな雇用を創出し、競争力をもたらし、豊かなビジネス生態系を実現させるためには、大学、起業家、労働市場、職業訓練プログラムなどの基盤組織をネットワーク化する必要がある。特に、「知識創造とベンチャー創出」「小規模企業と大企業」「教育の内容と雇用機会」「さまざまな分野のリーダー」という4つの領域での連携が欠かせない。たとえば、知識創造拠点、研究拠点、インキュベーター、テスト・サイト、イノベーション地区などを活用し、新しいアイデアや技術を事業化する試みが行われている。  
※『DIAMONDハーバード・ビジネス・レビュー(2012年6月号)』に掲載された論文を電子書籍化。



**キルケゴール著作集11**

キルケゴール 税込 ¥2,808 (紙の書籍 ISBN:9784560023280 1995/10刊)  
白水社

第11巻内容＝死にいたる病。第12-15巻も同時配信。

研究者・図書館・法人のお客様のためのオンラインストア

■ 紀伊國屋書店  
**BookWeb Pro**  
https://pro.kinokuniya.co.jp



紀伊國屋書店電子書籍アプリ  
**Kinoppy**



お問合せ先: **BookWeb Pro課**  
Mail: bwpro@kinokuniya.co.jp  
Tel: 03-6910-0527 Fax: 03-6420-1370